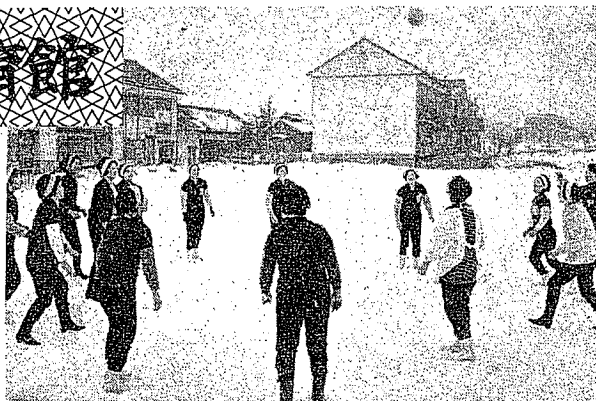


# 市政だより

No.317-1970 (定価5円)  
毎月2回・1日, 15日発行  
昭和26年7月6日第三種郵便物認可  
発行所・会津若松市役所  
発行人・松本善夫  
編集・総務部市長公室広報係

## ぜひほしい屋内総合体育館

### 全会津の力で県に陳情 誘致促進委員会も結成



雪の中で練習するママさんバレーチーム(一箕婦人会)

県営総合体育館の建設は全会津の人々のものであり、会津のスポーツ技術の向上はもちろん、健康増進、体力力の向上、健全な精神の育成などに、大きな役割をはたすものであり、雪

#### 社会体育の一大センター

にも委縮しがちです。そこで、市民のだれもが利用できる屋内体育館の建設の気運が昭和四十年ごろから盛り上がり、市でも体育館の必要性を認め、昨年からいろいろ検討した結果、普通の小さな体育館ではなく、全国的な体育大会も開催できるような大規模な県営総合体育館の誘致をはかることにしました。

会津は、県下第一の積雪地であり、十二月から三月いっぱいまで一年の三分の一は雪におおわれ、屋外でのスポーツは特殊なものにかざられていきます。そのため、人々はスポーツをしようと思っても気軽に利用できない体育館がないため、家の中にとこもり、心身と

として保存しましょう

国会津にとってはどうしても必要な施設です。また総合体育館は、社会教育における文化センターの役割と同じように、社会体育における一大センターとなります。

#### 建設に明るい見通し

市では、体育館建設の陳情を県に対して続けてきましたが、見通しは決して明るいものではありませんでした。そこで、昭和四十四年度に入ってから会津地域住民の総力をあげて、これ

#### 念願達成まで一層の努力を

を実現しようとして、陳情団を組織して陳情を続けるとともに、このほど、福島県営総合体育館誘致促進委員会を結成しました。これは、全会津の市町村長、議会議長、教育委員会の委員長や教育長、体育協会長、各種団体の代表などによって組織され、委員長に高瀬市長が選ばれ、今後は、委員会が中心となって、陳情や請願などの運動を展開することになりました。

けなければなりません。建設を望む市民の声  
昨年の全市ママさんバレー大会で優勝した、一箕町婦人会長の赤羽ユキさん。「何かの大会があると、会場が毎年変わるのを、会場設定、折衝と事務局のみならずにご苦労をおかけしております。またバレー大会は農繁期の時期になります。体育館があれば、農繁期の冬にできるのです」  
行仁地区婦人会長の吉岡サダさん。「私は、高年令

このような全会津人一人となった熱意を県でも理解し、最近、ようやく明るい見通しがでてきました。しかし建設が本決まりとなつたわけではありません。全会津の人々の念願を達成するまで今後一層の努力を続

層の人たちが運動できる施設をもつた体育館を望みます。スポーツを通し、女性らしさを養い特定の人がばかりでなく、一般の人々も気軽に利用できるような理想の体育館建設を望みます」また、ことし成人式を迎えた宮崎電線勤務の鈴木伸喜さんは、「学校の体育館借用に奔走しても、うまく借りることができません。老若男女が、自分に合ったスポーツ、健全娯楽などに利用できる体育館が当市にあるべきです。ぜひ当市に体育館建設を希望します」

### お知らせ

- ▷20日 明るく正しい選挙推進委員研修会 公民館
- ▷20日～22日 教職員研究物展示会 公民館
- ▷22日 地域婦人団体クラブ活動発表会 公民館
- ▷22日 第14回会津若松市冬期市民体育祭(バスケット・卓球・柔道・剣道)若二中・武徳殿・会女・若商
- ▷26日 子供会育成会研修会
- ▷28日～3月13日 全国一斉春の防火運動 消防本部

### ぜひことしもご加入を 市民交通災害共済

—受付は2月20日から—  
▷会費 大人1人につき330円  
中学生以下1人につき280円  
くわしくは、市役所市長公室市民相談係へお問い合わせください。

# 福島県 減産目標3万9千トン 米の生産調整

## 総合農政の確立めざして

国の減産目標が百五十万トンと明示され、県の割当で、市町村配分も決まって、生産調整も、いよいよ最終段階にさしかかってきました。

米作一本によりかかってきた農民にとって、いままもっとも大きな関心事である生産調整にスポットをあててみました。

現在、わが国で行なわれている食糧制度は、昭和十七年に制定された「食糧管理法」にもとづいて、米や麦の主食の配給を国が管理統制する制度です。

戦時中から戦後にかけての食糧危機のなかで、この制度は、国民の最低限の主食確保に大きな役割をはたしてきました。

しかし、ここ数年、わが国の稲作は豊作につぐ豊作

で、四十二年には千四百四十五万トンの記録的な増収をみえています。

これは天候に恵まれたこ

## 奨励補助金一〇アール当り 三万五千七十三円

とはむろんのこと、品種の改良・普及、米づくり技術の向上などによるものです。

こうした順調な米の生産の伸びに反して、いっこうに伸びないのが米の消費です。一人当りの米の年間消費量をみますと、三十七年度の約百十八キロを最高に年々減少し、四十三年には約百キロとなっています。

国民の食生活の向上とともに、食生活の内容が多様化してきたことも見逃すことができません。

最近、政府米の在庫は急激にふえています。約三百万トンだった四十二年十月末の古米在庫量は昨年十月末には約五百六十万トンに達しています。

このままでは、今年十月末には、古米在庫は約八百万トンにも達することが見込まれています。

いっぽう、政府の買入価格をみると、三十八年以降は政府売渡価格を上まわり、現在では、政府買入価格が政府売渡価格を玄米百五十キロ当り約千九百円上まわり、政府の大きな財政負担となつています。

米の需給関係のバランスを保つ食糧制度そのものの維持すらあやぶくなってきています。

今年、政府が行なうとしている米の生産調整は、こうした食糧制度をゆるがしている要素をとりのぞき、米の需給関係の一日も早い均衡回復をめざすものです。

すでに明確にされた本年度の国の減産目標は百五十万トン、そのうち五十万トン分(十一万八千ヘクタール)は、政府・民間による水田の公共用地への転用などによって実施されます。

残り百万トン(二十三万六千ヘクタール)が農家の減産目標で、農民の自主調整によって実施するものです。

減産奨励のための補助金は、転作・休耕ともに、一キロ当り八十一円(全国平均十アール当り三万五千七十三円)を支給することに

なっています。

福島県への割当では、生産量で三万九千二百トン以上の減産、八千五百二十ヘクタールの水田面積の転作が内示されています。県ではこれをもちに各市町村への割当てを検討してきましたが、各市町村配分が十日発表されました。これによ

## 自動車は回り道を

### 復旧に全力

## 小田橋が流失

さる一月三十日夜から三十一日朝にかけて、会津地方を襲った強風雨で湯川が増水し、小田橋が流失しました。この橋は小田山地区と城東町を結ぶ大事な橋であるところから、市では早速小田橋のすぐそばに歩行者専用の仮橋をつくり、小田山や青木地区など三百六十余世帯の足を確保しました。

また仮橋には夜間照明をしておりますが、積雪や凍結などで足元がすべり易いので通行にはくれぐれもご注意ください。

## 図 回 路 線



ると、本市に配分された米生産調整目標数量は千三百二十八トンです。本市ではいまま、すでに結成された米生産調整推進協議会を中心に生産調整を円滑にすすめるようとしています。自主調整に農家の皆さんのご協力をお願いします。



磯貝副議長



一ノ瀬議長

二日午後一時からひらかれた臨時市議会において、投票の結果、議長に一ノ瀬直俊氏、副議長に磯貝義恵氏が選ばれました。のびゆく市政の一翼として、今後の活躍が期待されます。

## 議長・副議長決まる

議長略歴 昭和十七年市議に初当選、戦後一時、市産業経済課長を勤めたことがあるが市議通算四期、その間、協会運営委員長・商工農林委員長などを歴任。現住所は市内千石町一番十一号、青果移出業、六十六歳。

副議長略歴 昭和三十一年当選以来、市議連続四期、この間、建設委員長、四十二年五月から昨年十月まで副議長の地位にあった。現住所は市内城前九番六号、土建業、六十五歳。

# みんなの善意、大きく実る

## 共同募金 歳末たすけあい

昨年十月から全国いっせいに「共同募金運動」と十二月からは「歳末たすけあい運動」が実施されましたこの両運動に対して、みなさんから寄せられた善意は大きく実り、会津若松市福祉協議会では市民のみなさん

### 共同募金

共同募金実績額は、三百万七千八百二十七円でした。この内訳は町内会百五十二万八千二百十六円、支所・連絡所六十七万四千五百五十九円、職域七万五千三百円、学校二十二万二千七百五十九円、法人(大口)五十九万八千五百円、その他一万四千四百円です。これは全額を県共同募金会に送りここで厳正な審議を経て、各養護施設や市町村社会福祉協議会などに配分されます。

### 歳末たすけあい運動

歳末たすけあい運動の実績額は百二万四千九百九十九の好成績でした。配分先は長期結核(単身)入院患者、会津長寿園、和光寮、措置児童、若松乳児院、竹田病院内ベトスクール、市外老人ホーム収容者、戦傷病者、精神病患者、竹田・県立病院患者自治会、若松第一・南町保育園(指定寄付)にそれぞれ配分されました。物品配分先としては在宅身障児、被保護世帯、要保護世帯に、クリスマスケーキ、醬油、油、砂糖などを贈りました。

また、佐藤秀勝氏かららんと十組、佐々木和一氏から鶏卵十キロ入箱詰一箱、穴沢熊雄氏からクリスマス長靴(キャンディ入り)七十個のご寄付がありました。このほかに、第三団ガールスカウト、第四中学校JRC、吉田しげお子さん、真珠磨路会(富士通有志グループ)の方々から多数の衣類、学用品が寄せられました。これらは、ねたきり老人、会津児童園、長寿園、要保護世帯などにそれぞれ贈られました。

## 死に追いつかぬ親の目

### きびしい親の目が必要

全国でも大きな社会問題になっているシンナー・ポンド遊びについて、市青少年問題協議会では、いぜんとしてこの遊びは減っていないといっています。しかも最近では、低年齢層に多くみられ、県内全域にわたって増加しています。



このシンナー・ポンド・セメダインなどを溶かす、有機溶剤や接着剤は、脂肪性質をもっておりこれを嗅ぐことによつて脳、神経系統、副腎など麻酔する作用をもっています。そして人間を廃

人同様にし、さらに死に追いつかぬ親の目が必要。少年が自制心を失い、理解力や判断力がなくなつて衝動的に行動し犯罪や事故を起こすこの遊び、なんといつても親のきびしい監視が必要。そしてたとえ自分の子でなくとも、もしこのような遊びを見つけたらよく理解させ、正しく補導することが我々おとなの義務ではないでしょうか。

## 入札参加指名願いの提出を

昭和45年度に市が発注する建設工事、工事用資材、財政課用度係の物品購入、および水道部の物品購入、建設工事について入札参加希望の方は、下記の要領で入札参加指名願いを提出してください。

### 建設工事関係

- 提出期限 3月16日
- 提出書類および部数  
建設省または県統一様式1部
  - 添付書類 ①建設業登録証明書(写) ②登記簿謄本 ③営業の沿革 ④営業所一覧表 ⑤直前2年間の年度毎の工事施工金額 ⑥主な工事経歴書 ⑦使用人数 ⑧技術者経歴書 ⑨営業用機械器具 ⑩昭和43・44年度納税証明書(事業税、固定資産税、市町村民税) ⑪主要取引金融機関 ⑫代表者身分証明書
  - 提出先 市建設部都市計画課

### 工事資材関係

- 提出期限 3月16日
- 申請書および部数 申請用紙は市財政課または都市計画課にあります。 1部
  - 添付書類 ①営業の沿革 ②営業所一覧表 ③製造(販売)年間平均 ④経営規模 ⑤経営状況 ⑥主要取引金融機関 ⑦昭和43・44年度納税証明書(事業税、市町村民税、固定資産税) ⑧身分証明書(市民課発行) ⑨営業証明(税政課発行)
  - 提出先 市建設部都市計画課

### 物品購入関係

- 提出期限 3月14日
- 提出書類 市財政課備付用紙 1部
  - 参加資格 ①2年以上継続業者であること。 ②諸税の完納者であること。
  - 添付書類 ①納税証明書 ②身分証明書 ③登録簿謄本(法人) ④市町村営業証明(個人) 各1通
  - 提出先 市総務部財政課 用度係

### 水道部物品購入建設工事関係

- 提出期限 3月16日
- 提出書類  
建設工事関係は市都市計画課と同じ。また物品購入関係は市財政課と同じです。
  - あて先 水道事業管理者
  - 提出先 水道部業務課 庶務課
  - ※ 手続きその他くわしくは水道部業務課庶務係、都市計画課、財政課用度係にお問い合わせください。



# お知らせ

## 農薬の使用基準決まる

農薬使用量の増大にともなう食品(農産物)における農薬残留が問題になり、いろいろ検討した結果、厚生省が食品衛生法に基づいてこのほど、四食品(りんご・ぶどう・きゅうり・トマト)を対象とした五農薬(BHC・DDT・パラチオン・ヒ素・鉛)の残留許容量を告示しました。さらに十二食品(りんご・ぶどう・きゅうり・トマト・キャベツ・ほうれんそう・ばれいしよ・いちご・もも・なつみかん・日本なし・緑茶)を対象とした八農薬(BHC・DDT・パラチオン・ヒ素・鉛・アルドリオン・デルドリン・エンドリン)についても近く許容量を設定します。

このように農薬安全使用基準が設定されましたので、農薬使用にあたっては、基準を守るようお願いいたします。

なお、くわしくは、市農業指導課へお問い合わせください。

## 商業経営研究会

- ▷日時 2月21日(土)午前9.30~午後4.30  
2月22日(日)午前9.00~午後1.00
- ▷場所 会津若松商工会議所中ホール
- ▷演題 「70年代の商業の動向」サブタイトル 大型店の地方進出対策とその具体例
- ▷講師 深川経営コンサルタント事務所長 深川 晃 一  
中小企業診断士 深川 晃 一

## 海外の国づくりに協力する 青年隊員募集

協力隊はアジア・アフリカ・中南米の若い国の経済開発、民生向上のために技術・技能・教育を身につけた、心身ともに健全な日本の青年を派遣し、各国の国づくりに協力しています。

▽資格 満二十歳以上の日本の青年男女で技術・技能を有する者

▽願書締切 昭和四十五年二月二十八日

▽選考試験 第一次試験 三月九日 第二次試験 四月八・九・十日

▽派遣前訓練 昭和四十五年五月六日

## 火事の注意も家事のうち

### 春の火災予防運動

春の全国火災予防運動が二月二十八日から三月十三日まで「火事の注意も家事のうち」をスローガンに全国いっせいに展開されます。

とくにこれから気象条件としては、火災が多発しやすい時期になりやすいため、就寝前の火の元の点検、タバコの吸いがらの適正な処理、避難口の確保、石油類の安全管理などを重点的に行ないます。

また、消防本部では昭和三十八年から市民消防相談所を設け「火事のない住みよい明るい街づくり」と「市民総消防」の二つの運動を推進してきました。

この運動を通して担当署員が随時パトロールや、各家庭の防火診断などを行ないます。しかし、なかには「自分の家は安全だから」とか「火を使う場所は一カ所だけだから」といった安易な考えで署員の防火診断を避けたりする家庭があります。署員が防火診断に向った時は快くご協力をお願いします。そして、この全国火災予防運動期間中もう一度、「火」に対する認識を深めたいものです。

## 三種混合予防接種

破傷風

▽該当者 ①ことし一月と二月に接種した方 ②第二期の方(昭和四十四年二月と昭和四十三年九月および、十月に第一期を完了された方)

なお、当日証明しますから、必ず母子手帳をお持ちください。

▽日時 三月二日 午後一時三十分から二時三十分まで

▽場所 吉田医院

なお、くわしくは、市保険衛生課までお問い合わせください。

虫くたしや殺虫剤をあっせん

市保険衛生課では「蚊」や「はえ」などの害虫を駆除するための殺虫剤をあっせんします。

薬剤名とあっせん価格は次のとおりです。( )は一リットル当りの価格

▽ウジ・ポーフラ・ゾール剤(二百二十円) オルソ乳剤(二百五十円)▽ハエ・ノミ・蚊・ダニなど三種混合油剤(百円)▽家ねずみ 殺そ剤(一袋三十円)

また、お腹の虫たいじをする「虫くたし」もあっせんします。ご希望の方は代金をそえて、保険衛生課または、支所、連絡所へお申し込みください。一回分の代金は次のとおりです。

▽大人用四十円▽中人用(中学生)三十円▽小人用(小学生)二十円▽幼児用十五円

国会図書館の「リポート」申込み

個人または団体で、研究のため国立国会図書館所蔵の図書(一冊またはその一部)の写しを取ってもらいたい方は、その申込用紙が会津図書館にありますのでどうぞご利用ください。

くわしくは、会津図書館(電話二一七八四)へお問い合わせください。

## 引揚者と遺族のみなさんへ

特別交付金請求はことし3月31日で受付期限がきれます。「該当するかどうかわからない」「手続きがめんどうだ」という方がおられると思います。このような方は市福祉事務所社会係にご相談ください。また、引揚者連盟若松支部(城前9-6 磯貝義恵会長)でも相談に応じております。

## 2月22日に冬期市民体育祭

- ▷期 日 2月22日(日)午前9時競技開始
- ▷競技種目および会場 バスケット(二中体育館)卓球(会女)剣道(武徳殿)柔道(若商柔道場)
- ▷主 催 市・市教育委員会・市体育協会・市体育指導委員連絡協議会